

## 「明日の京都」ビジョン懇話会 安全・基盤部会提案（案）

中心テーマ	地域において必要な定住条件を整備し、自由で安心な新時代のコミュニティを構築すること
-------	-------------------------------------------

検 討 事 項	ミ ッ シ ョ ン	成 果 目 標	参 考
それぞれの地域の多様性を活かしつつ、若者がふるさとに定住し、都会から人々が移住してくるために不可欠な社会基盤等の定住条件の整備方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農山漁村地域に定住する人々の所得を確保すること。</li>   <li>○農山漁村地域に定住するために不可欠な社会基盤を整備すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農商工連携など魅力あふれる農業ビジネスモデルが構築されること。</li>   <li>○地域農業の一員となり得る企業的経営の参入が増加すること。</li>   <li>○都市に近い地域等における農業体験農園が増加すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規就農希望者への農地、農業用施設・機械及び住宅の移譲・継承の促進</li>   <li>○携帯電話、ブロードバンド等の情報基盤整備</li>   <li>○行政や自治会の機能を果たす新しい地域マネジメント組織の育成</li>   <li>○住宅確保に加え、子育てや教育、福祉や医療などの定住ミニマムの整備・確保</li>   <li>○スクールバス、路線バス等の生活交通の最適化や自主運行など、交通弱者の足の確保</li> </ul>

検 討 事 項	ミ ッ シ ョ ン	成 果 目 標	参 考
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者等を見守るネットワークの構築や除雪など、地域ぐるみで高齢者の暮らしを支える仕組みづくり</li> <li>○新しい時代に即した魅力あるライフスタイルの1つとして、都市に向けて情報発信</li> </ul>
<p>超高齢化社会を迎えた中で、低炭素社会の実現など環境の視点や地域の活性化の観点を踏まえた、各地域・各世代を問わず自由な移動が可能となる方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低炭素型で社会的弱者にやさしい移動基盤を拡充すること。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の実情に応じた公共交通ネットワークの構築</li> <li>○KTR の利便性向上と利用者サービスの拡充</li> <li>○建築物や鉄道駅舎、道路・歩道等のバリアフリー化</li> <li>○環境に優しい公共事業の推進</li> </ul>
<p>明日の京都の活性化に不可欠である骨格的な高速道路網や鉄道網の整備・活用方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○骨格的な高速道路網を整備すること。</li> <li>○広域幹線鉄道網を整備すること。</li> <li>○使いやすく、活力あふれる京都舞鶴港づくりを進めること。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○KTR の利便性向上と利用者サービスの拡充（再掲）</li> </ul>

検 討 事 項	ミ ッ シ ョ ン	成 果 目 標	参 考
民間型の資産運用管理手法（アセットマネジメント）の導入、人工的な社会資本の自然への復元、公共事業に対する地域社会の自主性を高める権限の付与（エンパワーメント）など、新しい形の公共事業の推進方策	○公共施設の維持管理・更新費全体のコストを縮減すること。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「アセットマネジメント」の導入による公共施設等の効果的な資産運用・管理</li> <li>○府民の提案による公共事業の推進</li>   <li>○府民の声を反映した公共事業の推進</li>   <li>○府民や地域の参画・協働による公共施設の維持管理等の推進</li> </ul>
府民との対話により、まちなかに築かれた資源を有効に活用した新しいまちづくりの推進方策			○客観的な事業評価による工事実施個所の選定
地域社会の中で異世代、異文化が交流を深め、地域内の絆を一層強めることで地域力による暮らしの安心安全を強化するとともに、都会において失われつつある地縁共同体をNPOとともに補完する新しいコミュニティの形成方策	○住民の主体的な活動を引き出し、パートナーシップ型社会を形成すること。	○地域の課題解決や魅力アップ等に取り組む地域力再生活動が活発化し、自立・継続していること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域づくりを進める専門家の育成と地域での活動への配置</li>   <li>○個々の地域力再生活動を支援する中間支援組織や機能の強化</li>   <li>○多様な主体が出会い、協働する事業について議論し、実践する場づくり（プラットフォームなど）</li>   <li>○信頼性獲得の仕組みづくりや協働のルールづくり等によるNPOの基盤強化</li> </ul>

検 討 事 項	ミ ッ シ ョ ン	成 果 目 標	参 考
男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、仕事、家庭、地域生活など、多様な活動を自らの希望に沿った形で展開できる、社会基盤として不可欠な男女共同参画の実現のための方策	○性別に関係なくその個性と能力を十分に発揮できる社会を実現すること。		
災害等様々な危機に強いまちづくりの推進及び緊急時の危機管理体制の強化のための方策	○地震や風水害に対する地域防災力を充実させること。  ○新型インフルエンザ対策を推進すること。  ○テロ対策など有事への備えを強化すること。		○関係機関の連携と協力による総合的な危機管理体制の強化
大規模地震や洪水・土砂災害など避けられない自然災害から、府民の生命財産の被害軽減に資する社会基盤等の整備方策と災害発生後の早期民生安定に寄与する地域力強化の形成方策	○地震や風水害に対する地域防災力を充実させること。(再掲)		○洪水・土砂災害対策(ハード対策)の推進  ○防災体制(ソフト対策)の強化  ○畑川ダム事業の推進  ○大規模地震に備えた住宅の耐震対策の推進  ○建築物の安心・安全対策の推進
地域における防犯や消防活動、交通安全や消費者問題など、府民生活の安心・安全を府民自らが確保しようという意識を高め、地域が主体となって支えていくための方策	○地域住民自らが防犯・消防活動・交通安全などに取り組む社会を実現すること。  ○府民が消費者被害に遭わないようにすること。		

検 討 事 項	ミ ッ シ ョ ン	成 果 目 標	参 考
不法投棄や土壌汚染などの環境リスクから府民を守るための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物の不法投棄等を抑止すること。</li> <li>○府民の安心・安全な生活環境を守ること。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○徹底した監視・指導の取り組みの継続・強化</li> <li>○土壌環境・大気環境・水環境の管理強化</li> </ul>
府民が健康で、安心して豊かな食生活を送るための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全で安心できる農産物や食品が生産され、府民の信頼感が高められること。</li> <li>○府民が幼少の時から正しい食情報を持ち、適切な食生活を送れるようにすること。</li> <li>○府民が、新鮮で生産者の顔が見える府内産農林水産物やその加工品を入手しやすくすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食に関する正しい情報を持つ府民の数が増えること。</li> <li>○朝食を食べる子どもの数が増えること。</li> <li>○社会に日本食の素晴らしさが広まること。</li> <li>○学校、福祉施設や企業食堂の給食での府内産農林水産物及びその加工品の利用量や利用率が向上すること。</li> <li>○府内産農林水産物やその加工品を優先的に扱う販売店・ブースが増えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品の安全性を確保する制度や体制(組織、機器、人員)の充実</li> <li>○リスクコミュニケーションの普及</li> <li>○「地産地消」や「旬産旬食」の取組の普及促進</li> </ul>